

## 福井地震断層付近の地震分布

## Small earthquakes occurring near the Fukui Earthquake Fault

# 竹内 文朗 [1]; 澁谷 拓郎 [2]; 平野 憲雄 [3]; 西上 欽也 [2]; 岡本 拓夫 [4]

# Fumiaki Takeuchi[1]; Takuo Shibutani[2]; Norio Hirano[3]; Kin'ya Nishigami[2]; Takuo Okamoto[4]

[1] 京大・防災研・地震予知セ; [2] 京大・防災研; [3] 京大防災研; [4] 福井高専

[1] RCEP, DPRI, Kyoto Univ.; [2] DPRI, Kyoto Univ.; [3] D.P.R.I Kyoto Univ.; [4] FNCT

震源決定は、Jan. , 1976 ~ Sep., 1997 は北陸観測所関係の読取データ、それ以後は気象庁一元化読取りデータを利用した。JHD では、2003 年の一元化データから、122 観測点のデータを選び 1 次元 14 層の速度と各観測点の station correction 値を求め、震源決定を行なった。ここでは誤差  $x, y, z$  がそれぞれ 1km 以内、resolution が 0.8 以上としている。

対象域は、北緯  $35.7^\circ - 36.5^\circ$ 、東経  $136.1^\circ \sim 136.6^\circ$  の範囲で、1446 個の地震を対称にしている。また、深さは 0 ~ 30 km である。

この領域はほぼ南北に数 km ~ 10 km の幅で地震分布が見られる。福井地震断層の余震と見られる地域で、震源の深さは 0 ~ 20 km、特に 10km 付近が最も多い。震源決定の精度を限っているため必ずしも正確さは問えないが、現在の結果では兵庫県南部地震 (1995) の前数年は地震発生数が少ない。

以上のような特徴を中心に述べて行きたい。